

長期インターンシップ



・サンデン環境みらい財団

栗原史寛(情報・経営コース3年)

・エアームーブ住宅建設株式会社

大川佳澄(心理・人間文化コース2年)

吉田智香(心理・人間文化コース2年)

・前橋市政策部政策推進課

藤田真衣(情報・経営コース2年)

・前橋市児童文化センター

矢内綾奈(情報・経営コース2年)

スケジュール

事前学習.....9月24日～10月2日(7日間)

研修先の概要、接遇やねらい・心構え等について研修

実務研修.....10月5日～1月26日(4ヶ月)

週4日程度の実務研修を実施

研修期間中、報告会を開催し互いの研修の取り組み状況を報告

定期的に研修先と大学で連絡会議を実施

事後研修.....1月27日～2月2日(5日間)

研修の成果と課題等明らかにし、まとめる

成果報告会.....2月5日

インターンシップ

評価と効果

評価方法

感じ取ったこと
気付いたこと

⇒ 共有



振り返り評価



期待されること

- ・当事者としての意識が深まる
- ・評価の視点が豊かになる
- ・達成目標の基準の設定が高まる

インターンシップを通して気付いたこと

9 項目

よい人間関係をつくる力

- ・挨拶や言葉遣い等、相手にとって気持ちのよい対応に心がける
- ・挨拶や言葉かけは、会話のきっかけになる

主体的な行動力

- ・自分から必要だと思うことは見つけ出し、計画し実行する
- ・分からないことは自分から調べる努力をする

目標設定能力

- ・目の前にある仕事に自分で目標を設定する
- ・決められた時間の中で何を優先していくか計画を立てる

自分の意見を積極的に相手に伝える力

- ・人の意見を理解しようとする姿勢が大切
- ・報告、連絡、相談の大切さ

勤労観・職業理解の深まり

+

- ・大学で学ぶことの意義や価値
- ・大学生生活の在り方

↓

将来に向けての
ライフステージ

☆☆ 学生の変化 ☆☆

- ・日記や記録をつける習慣、メモ帳・ペンを常時携帯
- ・政治・経済、教育等の社会事象に関心
- ・情報収集や学習の時間の増加

教育的な効果

・職業観、地域志向の高まり

- ・ビジネスマナー、スキル、マインドを学ぶ
- ・地域に根付いた活動、社会貢献に気付く

・大学での学びを見つめ直すきっかけ

- ・大学での学び方、学ぶ態度に気付く
 - ・ 専門分野の探求、学ぶ姿勢、学び方
- ・大学での学びと社会での学びの接続に気付く
 - ・ 講義や実習で学んでいることが社会の中で関連し、意味がある
- ・コミュニケーションの重要性に気付く
 - ・ 仕事を通して、信頼関係・協働意識を学ぶ

学生の声

動機・きっかけ

「自分を変えてみたい」

「将来への不安から」

「自分の知らない世界を知ってみたい」

参加して得られた気づき・経験したこと

「大切なことは人とのつながり、そのための挨拶やマナー、コミュニケーションが大切」

「自分から進んで取り組む姿勢、仕事への誇り、お客様を思う気持ちを持つ」

「知識を深めるための勉強が必要」

「自分なりにどうすれば人口減少を食い止めることができるのか考えるようになった」

「失敗することも大切な経験だということ、失敗して学んだことも多かった」

大学生活と異なった生活環境の中
組織の一員として行動し、物事を成し遂げる



何が評価され、どんなことに価値があるのか



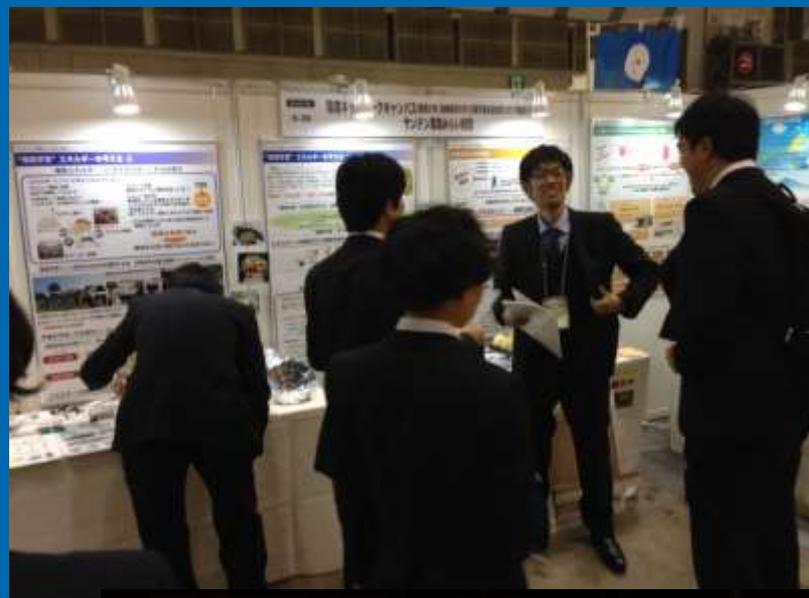
自分の行動を変えていく

- ・学んできたこと
- ・身につけてきた生活習慣 ⇒ 見直し
- ・職業観

なぜ学ぶのか、どう働くのか
社会に向けての基準ができあがる

司建設

サンデン環境みらい財団



前橋市政策推進課

前橋市児童文化センター



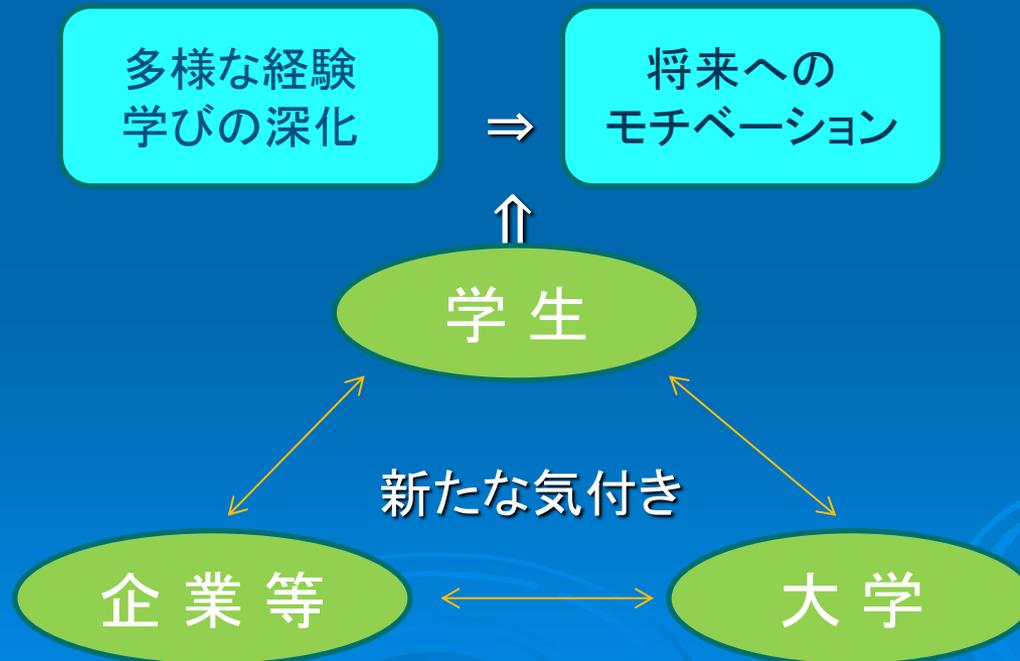
受入先から

- 学生の考え、発想を知ることができた
- 若手社員の教育や職場の活性化に役立った
- 人を育てることの重要性に改めて気付いた



2月5日
成果報告会

- 研修先の企業や行政・・・感謝、連携・協力
- 行動し、学び続ける学生の姿を期待
- インターンシップ、プログラムの充実



以上、報告とさせていただきます

ご指摘・ご示唆をお願い申し上げます

